

第2回 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

日時：令和4年12月20日（火）午後5時～

会場：教育会館 ぎんが

次 第

1 開 会

2 会議録の確認

3 中学生、高校生、大学生委員代表による意見の報告 資料1-1、資料1-2

4 部活動地域移行の検討の方向性について

- (1) 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイド
ライン（案）」の意見聴取について 資料2
- (2) 学校部活動の地域連携について 資料3
- (3) 地域資源を活用したトライアル事業（案）について 資料4

5 情報提供

世田谷区の地域資源（追加） 資料5

6 その他

- (1) 次回以降の日程について
- (2) その他

7 閉 会

※次回以降開催予定

第3回 日時：令和5年1月19日（木）午後6時30分～（予定）

会場：調整中

第4回 日時：令和5年2月14日（火）午後6時30分～（予定）

会場：調整中

第5回 日時：令和5年3月30日（木）午後6時30分～（予定）

会場：調整中

■配付資料

- 【資料1-1】 中学校の部活動に関する意見交換会（検討部会）
（中学生の部）（高校生・大学生の部）報告
- 【資料1-2】 中学校の部活動に関する意見交換会 回答シート（集計結果）
- 【資料2】 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）【概要】
- 【資料3】 学校部活動の地域連携について
- 【資料4】 地域資源を活用したトライアル事業（案）について
- 【資料5】 区立中学校部活動地域移行に関連する世田谷区の地域資源（追加）

■基礎資料（机上ファイル）

- ・参考資料1 運動部活動の地域移行の関する検討会議 提言（スポーツ庁）
- ・参考資料2 文化部活動の地域移行の関する検討会議 提言（文化庁）
- ・参考資料3 「未来のブカツ」ビジョン（経済産業省）
- ・参考資料4 世田谷区立中学校における部活動の方針
- ・参考資料5 部活動支援員の手引き

■その他

- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）

中学校の部活動に関する意見交換会（検討部会）

（中学生の部）

（高校生・大学生の部）

報告

1 開催日時・会場・出席者

- 日時 令和4年11月17日（木）
 - （1）中学生の部 午後5時5分～午後6時
 - （2）高校生・大学生の部 午後6時10分～午後7時
- 会場 三軒茶屋分庁舎 消費生活課「教室」
- 出席者 近藤 智靖 委員長
細越 淳二 副委員長
渡部 理枝 教育長
検討部会委員（名簿参照）

1 開催日時・会場・出席者

当日の様子

中学生の部



高校生・大学生の部



2 中学生の部で出された意見等

1 今の部活を選んだ理由は？

- 小学校の時に始めて、その流れで。
- 小学校のときにやりたくてもできなかったことを中学校になってやろうと思った。
- 地域のクラブに通っていた。
- 先輩の影響で。いっしょにやりたかった。
- 友だちの誘いで。
- 家族がやっていた。
- 家族との共通の話題がほしかった。
- もともと得意なものであったし、得意なもので目立ちたいと思ったから。

2 中学生の部で出された意見等

2 部活をやっていて、楽しいなと思うときは？

- 達成感を得られたとき
 - ・試合に勝った、自己ベストを更新した。
 - ・練習をやり切った。
 - ・観客からの拍手、等
- 仲間・ライバルができる。仲間・ライバルとの交流。
- ひとりではなく、みんなで練習をすること。
- 先輩から教わる、後輩に教えることを通じて多角的な視点を持ち、成長できる。
- 指導を受け、競技への理解が深まったとき
- できなかったことができるようになること
- マナーや礼儀が習得できる。

2 中学生の部で出された意見等

3 部活をやっていて、大変だなと思うときは？

- 練習がきつい。
- 休みがない。
- スランプのときはやめたいと思う。
- 勉強との両立。
- 顧問の指導力がない（専門知識がない）。
- 大会の当日、顧問・外部コーチに相談できない。
（試合の審判担当等、大会運営に関わらなければならないため）。
- 人間関係
 - ・部内がまとまらない
 - ・下級生とのコミュニケーション
 - ・合同チーム内のまとまり
- 部員が少ない。
- 部員が増え、部活に対する意識の差が出てきた。
- 部活の魅力をPRする機会がない（発表の機会等）。

2 中学生の部で出された意見等

4 こんな部活だったらもっといいのに・・・

- 休みがちゃんと（規則正しく）あった方がよい。
- 勉強との両立を図りたい。
- 良好な人間関係が築かれている。
- まわりに大人がもっといてほしい。もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。
- 練習内容の工夫。
- 同じ実力のある者同士でチームを組みたい。同じ実力のチームと試合をしたい
- 練習の機会・時間がもう少し増やせるといい。
- 設備の充実
 - ・競技専用の施設
 - ・やる気が上がるような環境

2 中学生の部で出された意見等

5 部活動の地域移行について

- 吹奏楽部は楽器の運搬があるので、大変。
- 交通費が負担になる。
- 人数の多い部活は、移動の時に迷惑になりそう。
- 他の学校とプレイできるのがいい。
- 他校の交流は良い面があるが、人間関係が大変そう。
- 部活はその学校の伝統。生徒がやりたいことをやるのが部活なので、どちらかが嫌な思いをするのでは。
- 合同チームはカラーが違って、かみ合わない。
- 顧問が熱心なので、指導者が他の人になると残念。
- 複数の指導者から指導を受けることになり、意見が違ふと迷うと思う。
- 顧問の先生ならば、学校行事やテストなどに気を使ってくれる。
- 地域移行でレベルの高い指導を受けられるのはよい。
- 挨拶や礼儀を教えるのも部活。そういう機能が地域移行でなくならないようにしてほしい。

3 高校生・大学生の部で出された意見等

1 部活をやっていて、楽しかったなと思うことは？

- 達成感が得られた。
- 好きでなかった運動が好きになった。
- 礼儀を学ぶことができた。
- チームメイトとの電車での移動等の機会を通じて、社会経験を学んだ。
- 部活を通じて、相手への思いやりが、小学生よりもできるようになった。
- 上下関係を学べた。

3 高校生・大学生の部で出された意見等

2 部活をやっていて、大変だったなと思うことは？

- 服装の制約があり、校則や部の決まりにあった用具を調達・確保しなければならなかったこと。
- 勉強との両立が難しい。
- 部員が少なかった。
- 部員がやめてしまい、練習内容や試合の戦術に支障が出た。
- 部員をまとめるのが大変だった。
- 先輩があまりいなかったので、相手チームへの挨拶等の礼儀に苦勞した。
- 顧問に競技に関する専門知識がなかった。
- 後輩にうまく技術を教えられなかった。
- 親が顧問替わりだった。
- 十分な指導が受けられなかった。
- わからないことは自分で調べた。

3 高校生・大学生の部で出された意見等

3 こういうふうなところが改善されたらよかった。

未経験者の顧問がいる部活をもう少しサポートしてほしかった。

3 高校生・大学生の部で出された意見等

4 部活動の地域移行について

- 他校との実力差の解消。レベルアップが期待できる。
- 合同練習は、仲良くしている部員同士だとよいが、初めてのメンバーでは気を遣う。
- 合同練習が普通のようにになると、合同練習が持つ特別な刺激が薄れる。
- うまい人がいると、刺激になる。
- 違う中学の人との練習は刺激があるが、学校生活の接点がないから意見の違いが出てくるのでは。
- 小学生、高校生ではレベルの違いがある。レベルの高い生徒にとっては教える側になり、練習にならない。
- 実力のある指導者から指導を受けられるのはよい。
- 他校に行く時間でもっと練習ができる。
- 練習のために他校に移動するにはお金がかかり、負担になる。
- 活動が厳しくない部活があってもよい。中学時代、自分の部をやめた人は、ゆるい部活に移る人が多かった。そういう部活があるほうがよい。
- 自由に参加できる部活があるとよい。スポーツ自体を純粹に楽しみたい人もいた。

3 高校生・大学生の部で出された意見等

5 これから中学に入る人に、部活についてどう勧める？

- 中学校3年間部活を続けたことに対して達成感があった。
- 中学校の部活動の情報を集めて、入るとよいと思う。

4 意見交換会後に寄せられた意見(回答シート)

「中学校の部活動に関する意見交換会回答シート(集計結果)」 参照

中学校の部活動に関する意見交換会

回答シート(集計結果)

中学生の部

高校生・大学生の部

中学校の部活動に関する意見交換会 中学生の部
回答シート(集計結果)

(1) 今の部活動について教えてください。

①今の部活動を選んだ理由は何ですか。
<ul style="list-style-type: none">・昔から野球をやっていて、自分にとって、なくてはならないものだったから。・野球をすることによって、礼儀など人生で必要になるものも学べるから。
小学校に吹奏楽団があり、そのタイミングでは入らなかったが、中学校に入って再度やってみたいと思ったから。
小学校から陸上をしていたから。
自分の好きなことでもあり、得意なことでもあったスポーツが陸上で、自分の中学校が強いと聞いていたから。
近所の公園で1対1をやってくれた人が誘ってくれた。本当はクラブチームに行きたかったが、親に反対された。結局部活動をやっていて、良かった。
テニスはもともと貴族の遊びだったこともあり、技術面だけでなく礼儀もしっかりしている。働くにあたって、礼儀が大切なので、相手を敬ってプレーするテニスが良いと思って入った。
小学校の頃、父と少しテニスをしていて、それが楽しかったから。
②部活動をやっている「こんなことがよかった」「役に立った」と思うことは何ですか。
<ul style="list-style-type: none">・学校などで先生に自分から挨拶ができるようになったこと。・体力がついたこと。・精神的に強くなったこと。
合奏の時にみんなで1つの曲を完成させるのに達成感が湧いたときが1番よかった。
<ul style="list-style-type: none">・友達が増えたこと。・根性がついたこと。
人とのかかわり。特に先輩や後輩との上下関係や、それに合った行動をすることなど、マナー的に大切なことを学ぶことができた。
<ul style="list-style-type: none">・挨拶ができるようになった。・他の部活の人とのかかわりがとても増えた。
先輩と仲良くなれたのは良かった。勉強について教えてくれるので定期テストで役に立った。部長なので、人をまとめたり自分の意見を持つ力がついたのが良かった。
体力がついたり、仲間と楽しく話せること。

③部活動で「一番楽しい」と思うことはどんなときですか。

- ・きつい練習を乗り越えて、試合に勝った時。
- ・今まで出来なかったことが出来たこと。

パート内で音程が合ったときや、曲が終わって、拍手がおこったときに感じる爽快感と共に楽しさを感じる。

- ・タイムを更新した時やレースで1位をとった時。
- ・友達と練習をしている時。

自分の記録や一緒にやってきた人の記録が良くなって、みんなで喜びあったりしている時。

サッカーについて、より深い考え方を手に入れられた時。

- ・自分の意見がチームに認められた時。
- ・自分よりも上手な男子や先輩に勝った時。
- ・部内の雰囲気の良い時。

自分のプレーが上手くできたり、試合で勝ったりした時。

④部活動をやっている「こんなことに苦労した」「大変だった」と思うことは何ですか。

- ・疲れがたまっている時
- ・キャプテンとして、あまり言うことを聞いてくれない時
- ・遠征で朝早く起きる時。

経験者ではないので、音程を合わせることなど経験者に追いつくことがとっても大変。

部員をまとめること。

今、部活のメンバーの中での部活への意欲の違いに苦労している。どういう部活がみんなにとって良い部活なのか、それを考えてまとめていくのがとても大変。

- ・中1の10月頃に顧問だった人が辞めた後の学校側の対応がひどかったこと。
- ・みんなの理解力。

都大会に行くという目標を達成するためには、チーム一丸となる必要があるのだが、部員のモチベーションに差があり、どのように練習するのか悩んだこと。

1年生がプレーは上手だが、まとまらず荒れていること。

⑤部活動をやっていて「こんなことが自分の成長につながった」と思うことは何ですか。

- ・人間的なところの成長につながった。(リーダーシップ、スポーツマンシップなど)
- ・電車内でのマナーを知り、成長できた。

人前で最初に発表する機会であった去年の音楽祭。とても緊張したが、吹奏楽の楽しさを改めて実感することができた。

- ・多くの人と協力すること。
- ・目上の人への態度。

周りをよく見れるようになった。今、自分がこの場面でどういう行動をとらなければいけないのかを考えながら取り組めるようになった。

- ・社会性を高めること。
- ・理解力の差を埋めること。

部長という役をもらったことが成長につながったと思う。一年生をまとめ、二年生の中でもトップに立ち、部員の様子を見ながら練習を進めるという、周囲に気を配ること。

忍耐力や体力がつくこと。また、人をまとめること。

⑥部活動について「もっとこんな風だといいいのに」と思うことは何ですか。

校庭の明かりが暗く、冬の活動が制限されているので、明かりが増えると良いと思う。

パート内に限らず、パート外ともコミュニケーションをとれたら、より良い部活動になっていくと思う。

他校との交流機会を増やす。

「もっとみんなで高めあおう」と思いながら、ライバル意識をもつ。一方で、楽しくみんなで目標に向かって走っていける風なのがいいなと思う。

挨拶、礼儀をしっかりと教えること。(そういうものは学校の先生が教えるのに長けている)

学校の校庭の明かりが校舎側にしかなく、ボールの見えるところと見えないところの差が大きいこと。また、ボールも探しづらいので、明かりを増やしてほしい。

昼休みに部活の練習があればいいのと思う。

⑦自分の今入っている部活動以外に「こんな部活動があったら、挑戦してみたい」と思う部活動はどのような部活動ですか。

何かを専門でやるのではなく、毎週色んなスポーツができる部活動があったら、少し挑戦してみたい。

- ・軽音部
- ・初心者でもできるダンス同好会
- ・カラオケ部

バレー部

部活動にみんなが一生懸命に取り組んでいて、部活動を楽しみながらもきつい部活動。

パズル部。年齢を問わずできる。頭をしっかりと使うことにもつながる。

- ・バトミントン部。学校にバトミントン部がないが、パラリンピックの体験でやったときに楽しかった。
- ・卓球部。テニスと似ているのもあるが、一番はオリンピックの影響である。

特になし。

⑧通っている学校で、活気のある部活動、雰囲気の良い部活動はどのような部活動ですか。

- ・厳しくやるところは厳しく、楽しむときは楽しむ部活動。
- ・野球部。どの部活動よりも自分に厳しく、野球に向き合っている。

- ・男子バスケットボール部 ・バレーボール部
- ・吹奏楽部 ・技術部

バレー部

練習がとてもきつい、部員で協力しながら、楽しみ、頑張っている部活動。

陸上部。コミュニケーション能力の高い人がたくさんいる印象がある。

- ・吹奏楽部とバスケットボール部。どちらも男女、先輩後輩関係なく仲が良いから。
- ・テニス部。私が入っているテニス部も顧問と生徒の仲が良いので、言いたいことがあったら何でも言えて、部内の雰囲気はいつも良い。

バスケットボール部

(2) 制度が変わった(地域移行)後の部活動について率直な意見を教えてください。

①学校の先生以外の方に指導を受けることについてどう思いますか。(これまでに学校の先生以外の方の指導を受けたことがありますか。)

- ・より専門的なものを得られると思う。
- ・まだコーチ(学校の先生以外)から指導を受けていない身としては、先生とコーチで言っていることが違うとどうすれば良いのか分からなくなる不安がある。

現在も週に1、2回程度外部からコーチが来ている。吹奏楽の専門的なことを学べていいが、もう少し来る頻度が多いと良いと思う。

刺激になっていいと思う。

OBの方がコーチとして指導に来ている。そのコーチは、顧問の先生の教えに沿って、それを理解しているので、とても工夫した詳しい教えが聞けてとても良い。

- ・質の高いものを教えてもらえる可能性はあるが、そうでない可能性もある。その格差はできるだけ無くすほうがいい。
- ・学校の先生のほうが挨拶を教えられる。

テニススクールでは受けたことがある。顧問がテニス部と陸上部の先生なので、持久力などテニスに必要な要素を陸上の知識も入れて行ってくれるという独自のやり方をしている先生で、そのやり方に慣れているので、週1くらいだったら良い。

指導を受けたことがない。少し嫌だと思う。(親しめなそうだから)

②学校以外のところで、部活動を行うことについてどう思いますか。

- ・試合会場になるような所でやれるのは凄く良いと思う。
- ・学校よりもできる練習は増えると思う。
- ・移動費や身体への負担が心配。

吹奏楽部として楽器は大切なものなので、移動中に傷つけてしまうリスクや、楽器をトラックで運ぶ時のコストや時間を考えると、あまり良く思わない。

トラブルの処理が大変そう。

とても良いと思う。陸上部の場合、競技場で練習したり、他校の独特な練習メニューや雰囲気を盗んだりできるのでとても良い。

そうしてしまうと、クラブチームとあまり変わらなくなってしまう。

人数が多いので、移動のときに周囲の方へ迷惑にならないかという心配はあるが、学校以外のところへ行くことはリフレッシュにもなるし、部員のモチベーションを高いまま保つことができるので良いと思う。

部活をする気分ではなく、クラブみたいな感じで新鮮でよいと思う。

③他の学校の生徒と一緒に部活動に参加したり、大会に参加できるようになることについてどう思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・人数が足りなくて合同チームになることは仕方ないけれど、それ以外なら自分の中学校だけで参加したい。 ・同じ学校のほうが勝った時の喜びは味わえる気がする。
他校の生徒とコミュニケーションをとれるのは良いが、そこでの人間関係のトラブルがあった場合を考えると、良くない気がする。
人間関係の輪が広がり、良いと思う。
良いと思う。他の学校の生徒との関わりで刺激を受けたり、走りを見れたりするので良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・「他の学校の生徒」というのはクラブチームと似ているところがある。 ・ある程度の共通認識がないと苦しくなる。
違う学校なので、「あの学校には負けない」とお互い切磋琢磨しながら練習できる。しかし、やはり練習がかみ合わなかったり、人間関係で悩む人は必ずでてくるので、そこが一番心配しているところである。
関わりが少ない他校の生徒と一緒に参加することは少し嫌だと思う。
④「もしもできたら挑戦してみたい」と思う種目はありますか。（今はない種目など）
<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング ・学校内だとできない部活をやりたい。
地域移行するのであれば、弦楽器の皆さんと一緒に練習して、オーケストラみたいなことに挑戦してみたい。
300m走
4種競技。この1年半で800m、200m、100m、幅とびと挑戦してきたので、それらを活かせるような種目。
フリースタイルフットボール（リフティング）。競技人口が少ないため。
水泳や陸上。区の陸上大会に参加して、周囲がとても速いと思い、負けたくないと思ったので、体験だけでもやりたいという気持ちがある。
特になし。

⑤指導料を払って、質の高い指導を受けられるとしたら、どう思いますか。

高校でも同じ種目をやると考えた時、次のステージにもつながる。(中学で辞めるとしても、どこかで活きると思う)

今のままが良い。質が高く、厳しい指導だと、逆にやる気をなくしそうな気がする。

払える家族と払えない家族がいることが懸念点である。

自分の受けたいときに受けられるのであればよいと思う。「ここの部分だけ知りたい・強化したい」というときなど。

経済的に苦しい人への対応が必要となる。皆が平等にならないとダメ。

その指導が自分にとってためになるのか、実力につながるのか、自分に合っているのかという心配があるので、一度試してみて、そこから考えて選択できることが良いと思う。

良いと思う。

⑥季節(シーズン)でやることがいくつか変わる部活動があったらどう思いますか。

休み(オフシーズン)の時期がなく、落ち着ける時間がない。

	夏	冬	
水泳	水泳	オフ	冬は大会がないから落ち着ける
スケート	オフ	スケート	夏は大会がないから落ち着ける
水泳+スケート	水泳	スケート	落ち着ける時期がない

吹奏楽部に筋トレなどを導入するのは良いと思うが、シーズンにかかわらず、毎回5分など、年間を通してコツコツおこなうほうが良いと思う。

適応するのが大変。

内容による。陸上部はシーズンによって練習内容が変わるので、それなら良い。全く違うスポーツをするのは、一つのことに集中できないように思う。違う種目を行うことが、次のシーズンで役に立つことであれば、検討の余地はある。

色々なことに触れる機会を増やせるのは良いと思う。ただし、一種類のスポーツをやりたい人への対応はどうするのか疑問。

自分は、苦手なことを克服できるまで継続して行いたい性格。なので、シーズン毎に種目が変わると全てが中途半端な状態になってしまうと思われるので、やりたいとは思わない。

3ヵ月ぐらいで内容が変わると、「慣れてきたのに変わってしまう」というようなことがあるので、よくないと思う。

⑦中学校3年生で引退するのではなく、卒業ギリギリまで続けられる部活動はどう思いますか。

受験もあるので、あまり良くない。継続するのであれば、「部活」ではなく「息抜き」として参加できるように、行きたいときに行きやすい環境づくりが必要だと思う。

現在所属している部では9月に仮引退、3月の音楽祭でまた一緒に演奏するという形をとっていて、それがベストだと思う。

自分の好きなことを長く続けられるのは良いと思う。

良いと思うが、強制ではなく、その時々や人によって判断できるほうが良いと思う。自分で調整できるなら目標もできて良い。

多くの中高生は3年生の夏または2年生の冬に引退する。そこから、勉強に一層注力する人が多い。そういう人たちの邪魔をしないためにも、参加しないと申し訳ない気持ちにさせる部活動は要らない。

卒業して就職する人には良いと思う。ほとんどの人は受験をするので、部活動があると勉強に身が入らなくなる。また、いずれにしても卒業時には辞めるので、あまり意味がないように思う。

とても良いと思う。ただし、人によっては引退しても良いと思う。

⑧小学校高学年や高校1年生くらいの中学校だけではなく異なる学年が集まるような部活や地域の活動があったら、どう思いますか。

特に人数の少ない部活には効果的だと思う。高校生から教えてもらうインプットの間と小学生に教えるアウトプットの間が整って、自分の成長にもつながる。高校生が懐かしい小学校の校庭で部活動ができれば面白そう。

学校内にとどまらない活動はとても良い。だが、中高生はとてもハードスケジュールになってしまうので、気軽に休むことのできる制度があるほうがありがたい。

地域が活発化してとても良いと思う。

色々な人との関わりで刺激を受け、速い人に教えてもらったりできるので、とても良いと思う。

実力差が大きすぎないなら良いと思う。他の学年と関わりがもてるのは良いと思う。

地域の活動なら良いと思うが、それが部活動となると、部員の人数が多くなって大変だと思う。それで顧問を増やすと、今度は教える人によって差が出てきてしまうと思う。

がたいの良い高校生と小学生との体格差が大きいのは危険なので、止めたほうが良い。

⑨部活動のない中学校って楽しいと思いますか。どう思いますか。

中学校の部活動は、自分の人生の「核」になると思う。勝ち負けや礼儀を学んでいる。部活動がないと縦のつながりも無くなる。勉強も大事だが、部活動のない中学校は考えられないし、デメリットが圧倒的に大きい。部活動は、死ぬまでにどこかで絶対に役に立つと思う。

学校生活や委員会活動が優先なのはもちろんだが、「楽しみ」がなくなってしまうのは、とても悲しい。

友達と接する時間が減って、寂しいと思う。

学校での活動範囲が狭くなってしまうので、人との関わりも難しく、活気のない学校になってしまいそうなので、部活動はあること希望する。

部活動のような機能は残るので、外部で実施することは現在の環境と変わらない。ただし、特定種目が強いことを理由に、学校を選んで入学した人には、メリットがなくなる。

楽しくないと思う。学校以外の場所で習うこともできるが、部活動は技術の向上だけでなく、先輩・後輩・先生との交流の場だと思うので、それがなくなると共通点や他学年との交流の機会が減り、楽しくないと思う。

授業だけだとつまらないと思う。

中学校の部活動に関する意見交換会 高校生・大学生の部
回答シート(集計結果)

(1) 今の部活動について教えてください。

①中学時代の部活動を選んだ理由は何ですか。
<ul style="list-style-type: none">・仮入部の時に先輩が優しく教えてくれたこと。・綺麗なコートの上に、活動日数が少ないから。
先輩に誘われたことと、仮入部の時にとっても雰囲気良かったから。
父が行っていたスポーツであること。小学校の友人が多かったこと。
父がバスケットボールをプレイしていて勧められたから。
中学校にあがるまでスポーツをしてこなかったため、何か運動をしようと考え、そのとき興味があったバスケットボール部に入った。
②中学で部活動をやっていて「こんなことがよかった」と思うことは何ですか。
部活動だからこそ味わえる仲間の大切さを実感できたこと。
一つのことに熱中できたことと、学校生活がより楽しくなったこと。
<ul style="list-style-type: none">・運動・スポーツを好きになることができたこと。・礼儀や礼節、上下関係を学ぶなど様々なことを身につけることができた。
先輩・後輩などの上下関係が学べた。
部長をやっていて、人をまとめるという経験ができたこと。
③中学と高校では、同じ部活動ですか。
はい。
中高共にバレーボール部。
同じ。
同じ。
同じ。

④部活動で、「一番楽しい」と思うことはどんなときですか。（中学・高校・大学）
<p>中学：自分の出来なかったことが出来るようになったとき。 高校：練習の成果を試合で発揮できたとき。</p>
<p>仲間と一緒に一つの目標に向かって切磋琢磨すること。</p>
<p>中学：部活動後の帰り道に友人と談笑しながら帰っているとき。 高校：ゲーム形式の練習を行っているとき。</p>
<p>練習後、部室での仲間との談笑。</p>
<p>仲間と良いプレーができたとき。</p>
⑤部活動をやっている「こんなことに苦勞した」「大変だった」と思うことは何ですか。
<p>初めはその部活の規則を知り、守ることや環境に慣れること。</p>
<p>部員数が多かったことで、意見が上手くまとまらない時があったことや、自分ができることを常に探しながら行動することが大変だった。</p>
<p>シューズやソックスの色が白か黒の単色に決められていたため、用具を用意するのに苦勞した。 半数以上の部員が辞めてしまったため、安定した練習メニューをこなせなかったこと。</p>
<p>学業との両立。</p>
<p>相手チームの監督などとあいさつをする際の礼儀など。</p>
⑥部活動をやっている「こんなところが自分の成長につながった」と思うことは何ですか。
<p>何事も諦めない強い心を持つことができた。</p>
<p>コミュニケーション力、礼儀、自分で考えて行動する力が身についたこと。</p>
<p>厳しい先生のもと厳しい練習を行ってきたうえで、身体能力のみならず精神力が成長した。</p>
<p>上下関係などの礼儀や、厳しい練習をやり抜くなどの経験。</p>
<p>人をまとめる経験ができたので、そこから見える人とのつながりなどを感じ、人間関係の成長につながった。</p>

⑦部活動について「もっとこんな風だといいいのに」と思うことは何ですか。
平日の部活は週一回で、さらに大学の敷地を使わせてもらっているため、自由に使えるコートが欲しい。
3年生で引退という形ではなく、卒業までは自分の好きな時に行けるようになったら良いと思う。
もっと兼部がオープンになればいいのではないかと思った。体験入部期間外にも体験入部ができれば、もっと良いのではないかと思った。
公立校と私立高で設備の差がある。公立校でも、もう少し整った設備があると良いと思った。
顧問の先生が経験者でない場合の外部コーチの導入など。
⑧中学時代に入っていた部活動以外に「こんな部活動があったら挑戦してみたい」と思う部活動はどのような部活動ですか。
小学生の時にチアダンスを習っていたのでダンス部があったら挑戦してみたい。
一つのスポーツに取り組む部活動だけではなく、色々なスポーツを楽しめる部活動があったら、それにも挑戦してみたいと思う。
ラグビーやアメフト。なかなか外部では手の出しにくいマイナースポーツも部活動であれば面白いと思う。
アダプテッドスポーツ
人数が多く、練習に支障をきたさない部活。
⑨通っていた学校で、活気のある部活動、イケイケだと思える部活動、雰囲気の良い部活動はどのような部活動ですか。
バレー部がとても強く、楽しそうだった。
信頼関係がしっかりと築けていて、一人ひとりが意見を言えるような空気を作れている部活動。
サッカー、バスケ、野球等のメジャースポーツ。 大会で上位の成績を収めていた卓球部。
楽しむときは楽しんで、真面目にやる時は真面目にやれるメリハリのある部活動。
バドミントン部。人数も多く、声も出ていて、大会でも何度も賞をもらっていた。

(2) 制度が変わった(地域移行)後の部活動について率直な感想を教えてください。

①学校の先生以外の方に指導を受けることについてどう思いますか。(これまでに学校の先生以外の方の指導を受けたことがありますか。)

1年間だけ大学生のコーチが学校へ教えに来てくれていた。

学校の先生以外の方の指導を受けたことはないが、専門的に指導を受けることが出来るのはとても良いと思う。

学校の先生の負担を軽減できることは好ましいと思う。

競技経験のない先生よりも競技や指導経験のある外部の方に指導してもらうほうが良いと思う。学校の先生以外の方の指導を受けた経験はない。

ある。顧問が経験者でない場合、とても有効だと思う。

②学校以外のところで、部活動を行うことについてどう思いますか。

移動に時間がかかるのがデメリットだと思う。

移動するのに時間がかかったり、交通費なども発生するので、学校がある日は難しいのかなと思う。

普段と違った環境で部活動の練習を行うことができるのは良い刺激になるし、大会等に向けて能率的な練習ができると思うが、移動費や場所の変化によって通うのが困難になる生徒が出ないかが気になった。

学校に活動場所がなければ仕方ないが、学校だからこそ楽しめることがあるから、あまり良いとは思わない。

普段と違う環境だと練習しにくいと思う。

③他の学校の生徒と一緒に部活動に参加したり、大会に参加できるようになることについて、どう思いますか。

交流の幅が広がり、友達が増えるため、良いと思う。

お互いにレベルアップできることはあると思うが、学校生活は別々になってしまうので、コミュニケーションがあまり取れずに意見の食い違いなどが起きてしまうのではなかと思う。

良い刺激になって良いと思う。特に人数の少ない部活動は練習の幅が広がるのが良いと思う。

普段会わない人と一緒に活動を行うことは、気を遣ってしまうと思うので、あまり良いとは思わない。

学校ごとのチームの強さが大会などで差がつきにくくなると思う。

④「もしもできたら挑戦してみたかった」と思う種目はありますか。(今はない種目など)
ダンス
(無回答)
ラグビー、アメフト、ウェイトリフティング
アダプテッドスポーツ
ない。
⑤指導料を払って、質の高い指導を受けられるとしたら、どう思いますか。
テニスは試合に出場するにも毎回お金がかかるので、安価なら良いと思う。
「上手くなりたい」とか「試合で勝ちたい」と思っていたら良いと思うが、純粋にスポーツを楽しみたい人もいると思うので、部活動全体として受けたりするのは良くないのかと思う。
質の高い指導を受けたいと思うが、指導料を払えない生徒は部活動に参加できないということになると、難しいと思う。
質の高い指導を受けられるならば指導料を払ってもいいと思う。
結果が分かりやすく出るなら、続けて良いと思う。
⑥季節(シーズン)でやるのがいくつか変わる部活動があったらどう思いますか。
自分は少し飽き性な所があるので、挑戦してみたいと思う。
季節ごとに色々なことができるので、飽きずに一年中楽しめて良いと思う。
季節でやるのがいくつか変わることによって、様々な種目を経験できるし、その中から自分に合っている種目を見つけることができるのは良いと思うが、大会や一つの目標に向けて一つの種目を真剣に取り組みたい人には向いていないのではないかと思います。
活動時期が限られている部活動にとって、とても良いことだと思うし、そのような部活動だけでなく様々な部活動経験ができることはとても良いことだと思う。
一つの部活で季節ごとに練習メニューが変わったりするので、あまり良くない考える。

⑦中学校3年生で引退するのではなく、卒業ギリギリまで続けられる部活動はどう思いますか。

部活動で悔いが残らないように過ごせると思う。

良いと思う。私にとって部活動は学校生活の中で本当に大きい存在だったので、できたら卒業ギリギリまで続けたかった。

自分でもできればそうしたいと思っていたが、受験勉強のこと等を考えると難しいと思う。

部活動以外のこともぬかりなくできるのであれば良いと思う。

続けたい人とそうでない人がいるのは良いと思う。強制でなければ良いと思う。

⑧小学校高学年や高校1年生くらいの中学生だけではなく異なる学年が集まるような部活や地域の活動があったら、どう思いますか。

教えたり、教えられたりする良い関係性になると思う。

良い刺激になると思うが、レベルの差があったり気を遣ったりしてしまうので、のびのびと取り組めなくなるかと思う。

たまに行う分には双方ともに良い刺激になり、とても好ましい活動だと思うが、日常化してしまうと実力の差による不自由さ等から陰々滅々とした気分になる人が出てくるのではないかと思った。

小中学生にとってはレベルの高い競技者と活動できるから良いとは思いますが、高校生は低いレベルに合わせなければいけないので、良いとは思わない。

地域の交流という視点で見ると良いと思う。

⑨部活動のない中学校って楽しいと思いますか。どう思いますか。

部活動があることで更に充実した中学校生活を送れると思う。

部活動がない中学校は楽しくないと思う。勉強以外に何か一生懸命取り組むことでより学校生活が楽しくなると思う。

楽しいと思うが部活動があった方が友人との友情も深まり、質の高い楽しさを味わえると思う。

自分は楽しいとは思わないが、その場所で楽しめるかは人それぞれだと思う。

それぞれ楽しさが違う人や、厳しい部活がいやだという人もいるので、良いと思う。

(3) 大学生の方へお聞きします

①大学生として自分自身が指導者になる可能性もありますが、大学生が指導者になることについてどう思いますか。

知識や経験のある大学生が指導を行うほうが、未経験者の先生が行うよりも良いと思う。

指導者を目指す大学生にとってもとても良い経験になるし、年の近い競技経験のある大学生に指導してもらえることは生徒にとっても良いことだと思う。

アルバイトとして指導したいという人が多いのかなと思った。

②他の大人がいない状態で、大学生自身しか指導の場がないことについてどう思いますか。

誰が指導するとしても、安全管理上、大学生以外の先生などの大人がその場にいたほうが良いと思う。

何か問題や事故があったときに、きちんと対処することができ、責任の取れる人が絶対にいなくてはいけないため、大学生だけではいけないと思う。

安全管理の面で不安要素があると思う。

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン（案）【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化芸術活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

（主な内容）

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

（主な内容）

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化芸術担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

（主な内容）

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度～令和7年度までの3年間を改革集中期間として重点的に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

（主な内容）

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数厳選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（案）

学校部活動

【位置付け】**学校教育の一環**（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



学校部活動の地域連携

■ **合同部活動**の導入や**部活動指導員等**の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 (※アスリート・アーティスト等の人材を含む)
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要
(学校や地域によっては存続が厳しい)

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

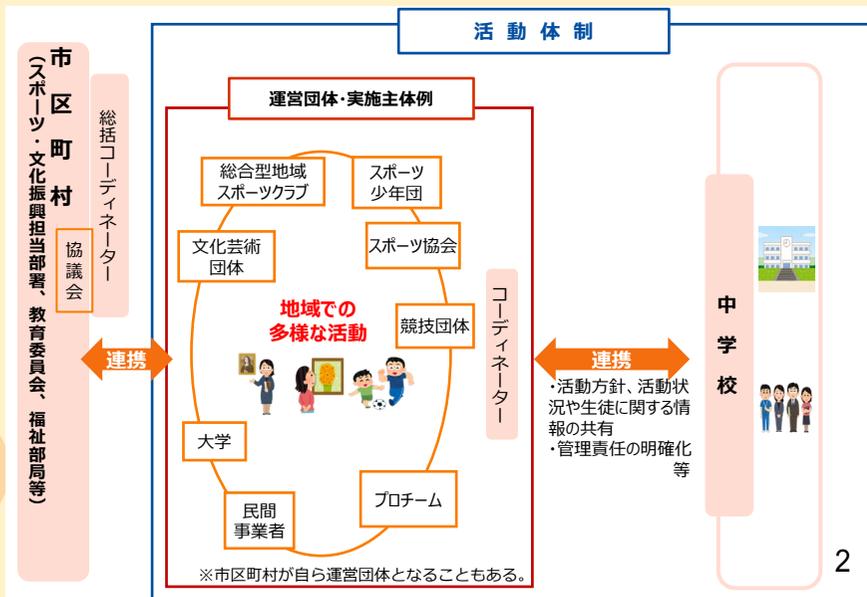
地域の実情に応じ、
当面は併存

休日の地域クラブ活動

【位置付け】**学校と連携して行う地域クラブ活動**
(法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)

■ **地域の多様な主体**が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

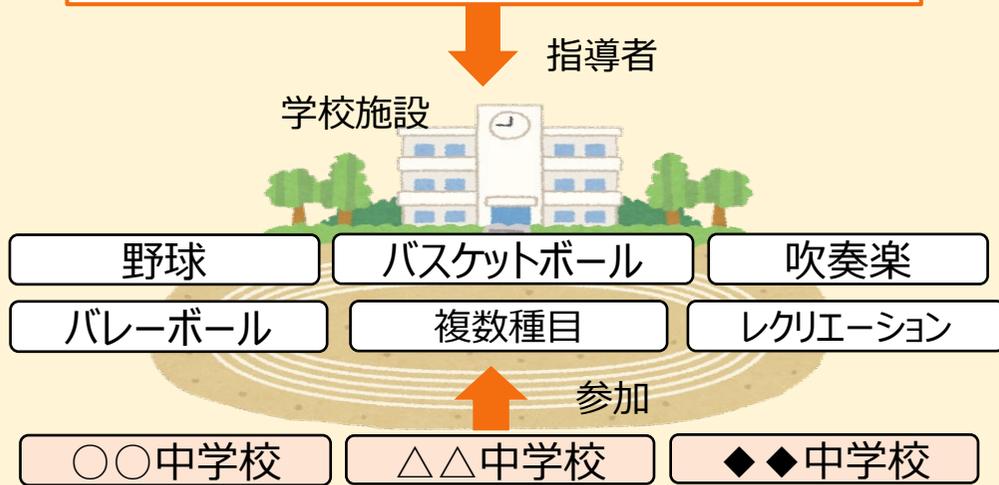
運営団体・実施主体	① 地方公共団体 （※複数地方公共団体の連携を含む） ② 多様な組織・団体 （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者 （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等有する施設
費用	可能な限り低廉な会費+用具、交通費等の実費
補償	各種保険等



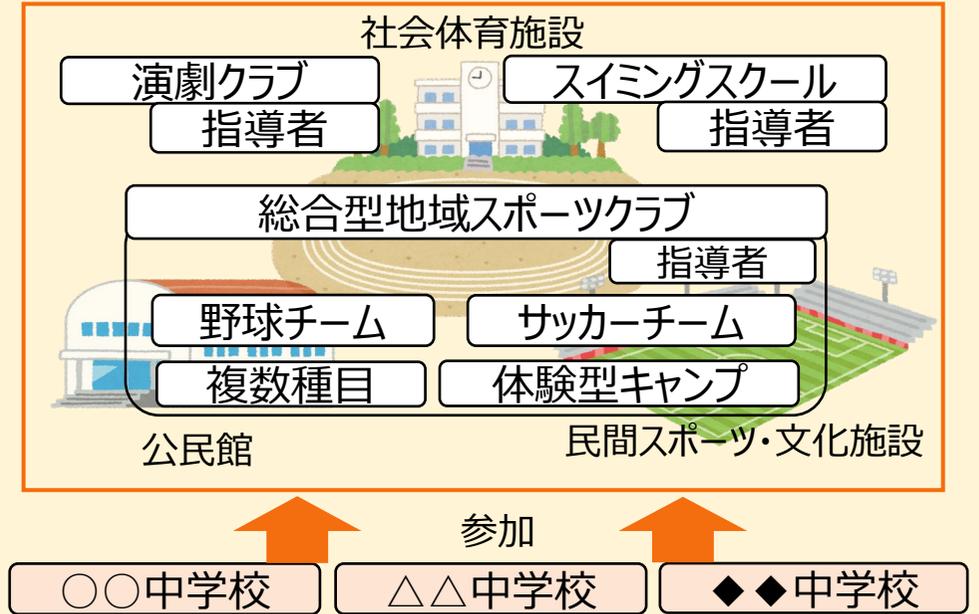
休日の地域クラブ活動

① 地方公共団体が運営団体の場合

市区町村が、スポーツ・文化芸術団体、大学、民間事業者、地域学校協働本部等と連携



② 多様な組織・団体が運営団体の場合



※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合

学校部活動の地域連携



休日の部活動の地域移行に係る手順の流れ（イメージ例）

都道府県

協議会の設置 方針の提示 情報発信

市区町村

協議会の設置
ニーズ・課題把握
情報発信

運営団体の
確保

指導者の確保
マッチング

活動場所の確保
活動内容の決定

生徒・保護者・
住民への周知
実施

〔都道府県：
人材バンクの設置〕

〔学校：教師の兼職
兼業の希望の把握〕

〔学校：学校施設の
開放〕

休日の部活動の地域移行に係る要素（例）

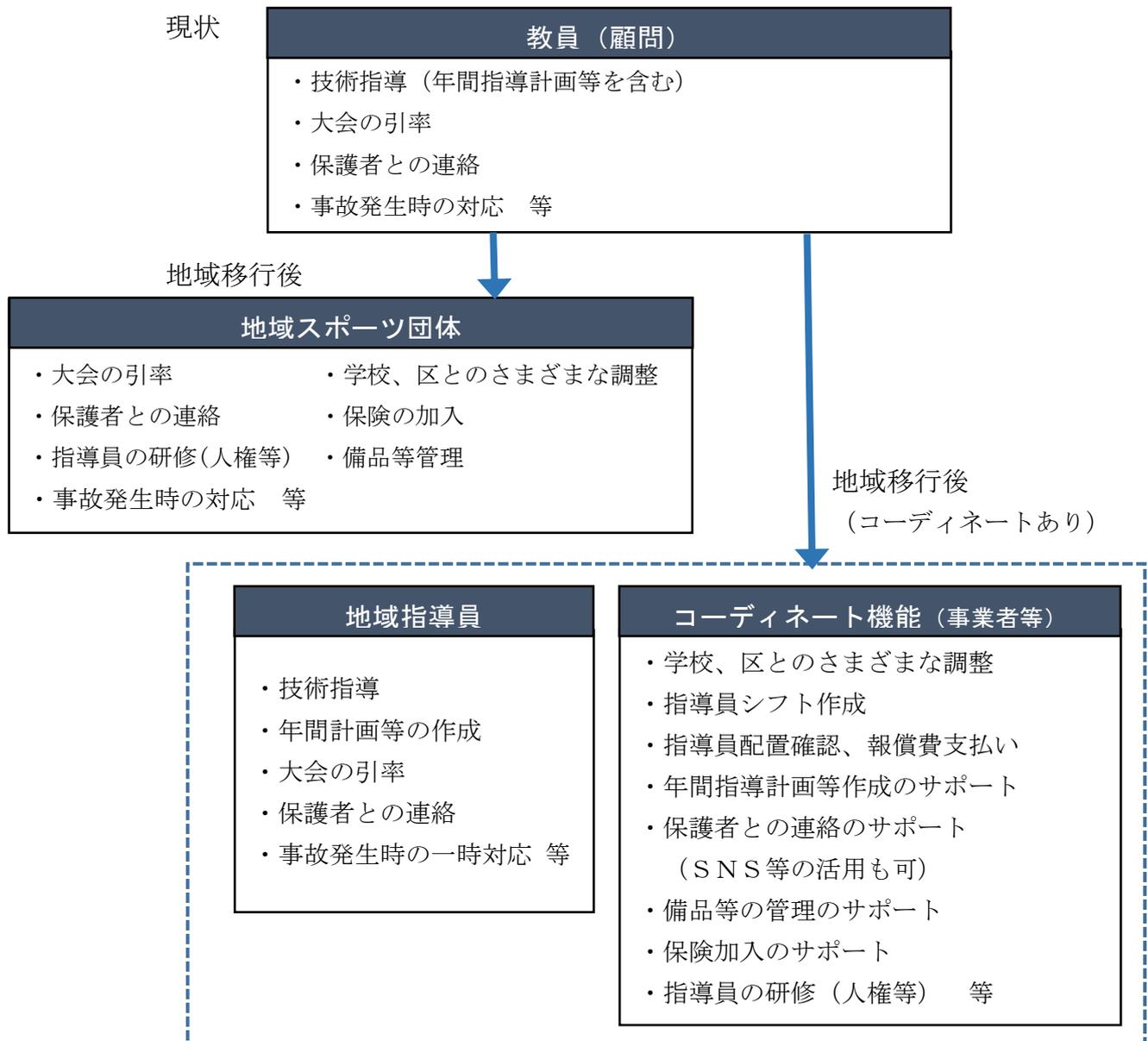
	関係者の巻き込み・合意形成	運営団体の確保	指導者の確保	その他環境整備	実施
都道府県	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・協議会を設置 ・方針の提示 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・都道府県単位のスポーツ・文化芸術団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・指導者の発掘・把握 ・人材バンクの設置 【教育委員会】 ・兼職兼業の規定・運用の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を広く周知
市区町村	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・教育委員会等とも連携し、協議会を設置 【協議会】 ・関係者へのヒアリング等を実施 ・ニーズ・課題を把握 【スポーツ・文化主管課】 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署・協議会】 ・地域スポーツ・文化活動を担う運営団体を確保 【協議会】 ・運営団体との連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・人材バンクの活用 ・地元の民間企業・大学等との連携 ・地域人材の掘り起こし 【協議会】 ・運営団体・実施主体とのマッチングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・学校施設や社会教育施設等の活動場所を確保 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定 【協議会】 ・地域クラブ活動における活動内容を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を周知し、実施
スポーツ・文化芸術団体、民間事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記協議会への参画 ・上記ヒアリングの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記取組への協力・参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクへの人材登録 ・研修等を通じた指導者の質・量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 【運営団体】 ・地域クラブ活動における具体的な活動内容を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 【運営団体】 ・活動を周知し、実施
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・上記協議会への参画 ・教師のニーズ把握 ・生徒・保護者のニーズ把握 		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の兼職兼業の希望の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用ルールに基づく学校施設の開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有 ・地域クラブ活動について周知

学校部活動の地域連携について

資料 2 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）【概要】」 P. 3 に示された「学校部活動の地域連携」について、区では、現行、顧問を配置した上で、部活動支援員制度を活用し、技術指導を始め、大会への引率等も含む支援を行っている。

■地域連携に伴う「顧問に代わる調整事項」について

- ・地域移行を教員（顧問）に代わり、地域団体や地域の指導員等が指導を行う場合、以下の煩雑な事務作業、調整等の業務が指導員に課せられる。
- 以下に示す「コーディネート機能」を導入すると、クラブチーム、地域団体、大学連携による大学生指導員など、さまざまな技術指導者が指導を行うことが可能となる。
- ひとつの事業者等が複数の学校や、複数の部活動のコーディネートを担うことも可能。



地域資源を活用したトライアル事業（案）について

第1回検討委員会において、多様な実施主体の選択肢があること、実施主体によって、様々な課題が生じる可能性について確認された。

このことを踏まえ、今後の円滑な地域移行に向けた事業検証のため、地域資源を活用したトライアル事業の取組みが想定される。

(1) 実施内容（想定）

実施は、原則として、休日及び平日の部活動とする。

① 総合型地域スポーツ・文化クラブにおける部活動の実施

② 世田谷区スポーツ振興財団における部活動の実施

③ せたがや文化財団における部活動の実施

④ 民間事業者における部活動の実施

(2) 保険について

- ・トライアル事業の実施にあたっては、活動中の事故等に備え、区の負担で、損害保険に加入する。

区立中学校部活動地域移行に関連する

世田谷区の地域資源(追加)

(8) 中学生の放課後活動支援(STEP)

- STEPは、中学生の放課後の新たな居場所づくりを目的に、平成11年度から行っている事業です。
STEPという名前は、「Space（空間）、Try（挑戦）、Enjoy（楽しみ）、Possibility（可能性）」という英語の頭文字からつけました。
- STEPでは、放課後に週1回程度、生徒が学級や部活動とは異なるメンバーで活動しています。
活動日には、生徒はだれでも自由に参加することができます。
また、運営には、地域の方々が運営協力員として携わっています。

(8) 中学生の放課後活動支援(STEP)

令和3年度 活動実績

	中学校名	活動内容	回数	参加者数(延べ)	
				在校生数	在校生外数
1	太子堂	漢検、英検、数学自習	8	220人	0人
2	桜丘	ギター・バンド活動、調理実習、園芸・農芸活動	76	968人	8人
3	緑丘	日本舞踊、琴	23	122人	0人
4	梅丘	園芸・農芸活動	20	177人	0人
5	弦巻	理科実験・ガリレオコンテスト出場指導	42	278人	0人
6	八幡	ダンス、バンドセミナー	49	339人	0人
7	瀬田	パソコン、ミーティングルーム開放、図書室開放、英語検定指導	29	452人	0人
8	深沢	補習教室	18	83人	0人
9	尾山台	自主学习補助、華道・茶道・着付け・箏曲	8	357人	0人
10	用賀	音楽活動	20	324人	0人
11	東深沢	囲碁・将棋、お茶、手芸、ダンス、園芸、調理、着付け等	24	106人	0人
12	砧	農作業	48	615人	0人
13	千歳	音楽活動・演奏活動	24	144人	0人
14	芦花	茶道、日本舞踊、華道	28	126人	28人
15	三宿	三味線	25	182人	0人
16	世田谷	放課後緑化活動	4	192人	0人
17	船橋希望	水泳	9	108人	0人
合計			455	4,793人	36人